

瑞浪市 南部地区・北部地区

令和2年度

【地域の概要】

- 本市は、市域面積の約70%が森林で、中山間地特有の小規模な農地が多く存在している。
- 耕地面積は801ha、うち担い手への集積面積は188ha（集積率23.5%）
- 遊休農地面積は23haで、遊休率が2.77%と高い状態となっている。
- 中山間地域等直接支払交付金等を活用し、遊休農地の発生防止に努めている。

取組開始前の状況や課題

- 小規模で生産性の低い農地が多く、また担い手・受託営農組織が少ないため、貸し出しを希望する農地をすべて集積できない。
- 農家の高齢化、及び後継者不足により、遊休農地が増加する傾向にある。

今後の展開と方向性

- 委員、営農組織、地域の連携による現場活動で、農地集積及び遊休農地発生防止に努める。
- 地域全体で新規就農者を支援する。
- 引き続き、体験農園での指導をとおして、農業の魅力・収穫の喜びを発信していく。

取組内容

○遊休農地を活用した収穫体験農園で農業指導を行っている。

○今年度は一般市民を対象にサトイモの収穫体験を行う予定であったため、農業委員会は その植え付け・肥培管理作業に参加し協力した。

秋の収穫体験は、新型コロナウイルスの影響で開催中止となったため、農業委員・農地利用 最適化推進委員約20名と、農産物等直売所「きなあつ瑞浪」の職員、JA職員が収穫し、土落とし、選別、袋詰め等の作業を行った。

収穫したサトイモは、「きなあつ瑞浪」の買い物客に、農業委員自らが無料で配布した。

